

## 令和3年度(2021)デイ・ホーム たんぽぽ事業報告(通所介護)

2021年度事業につき、その概要を以下のとおりご報告致します。  
数値に関しては、2022年3月31日の数値となっています。

### 1、職員数

職種	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従	備考
管理者		1名		介護職員兼務
生活相談員		1名		介護職員兼務
介護職員			1名	
看護職員			1名	
送迎ドライバー			1名	

### 2、利用者状況

最大利用者数	平均利用者数	平均年齢	平均介護度	営業日数	平均稼働率
20名	12.4名	82歳	1.5	255/256	62%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	22	21	22	22	22	22	21	22	20	19	20	23	256
延べ人数	440	420	440	440	440	440	420	440	400	400	400	460	5,140
延実人数	257	229	231	229	228	255	272	279	277	294	288	336	3175
稼働率	58%	55%	53%	52%	52%	58%	65%	63%	69%	74%	72%	73%	62%

### 3、事業目標

「笑顔の輪を広げよう」

・職員自ら、笑顔で接するように明るい職場づくりを心がけました。  
・個々の利用者の出来る事を考え、仕事を提供して達成感を感じていただきました  
その結果、通い始めてから、笑顔が増え、他の施設に通っている利用者様が他の施設利用を減らして、たんぽぽに来てくださる日を増す傾向にあります。  
たんぽぽが笑顔になれる居場所となるように、利用者様の心の安らげる場となるように、そして健康な身体を維持できますように、次年度の事業目標を、“心のやすらぎと健康のために”とします。

### 4、利用者処遇

- ①介護支援専門員からの情報をもとに、個人分析を行い個別計画書を作成し、個を知り個に寄り添い、個の意思を尊重し、個々に適した活動の提供を実施する。
- ②利用者の出来ることをきちんと把握し、自信をもって活動できるよう支援する。

・通所介護計画書を職員に説明、朝礼で確認しあいました、また、ケアマネ、家族との情報を元に、個の意思を尊重して活動することはすべての職員に浸透し判断の基礎になっております。  
・利用者確保に関しては、コロナ感染症の下火にともない、10月以降増える傾向にあり金曜日は19人の利用となり、その他の曜日にも8割以上の登録となっています。次年度は、さらに一人一人が生きがいを持ち、社会の一員として活躍出来る場を作ること

で、自信を取り戻して頂く支援を継続していきます。その結果、心も身体も健康で欠席率の減少につなげていきたいと思えます。

## 5、 個人情報保護、情報開示

- ①個人情報保護法に関する諸法令を遵守し保護に努める。また、利用目的を明確にし、適切に取り扱う。
- ②事業内容は、毎月発行される「たんぽぽニュース」を通じて公表する。

全ての個人情報に関しては事務所に保管して、フロア内に置きっぱなしにせず、個人情報の漏洩を予防いたします。  
情報開示に関しては、毎月発行のたんぽぽニュースレターを通して、事業所の情報を公開しました。更にホームページにより情報開示を行い、事業所を知って頂く工夫を強化していきたいと思えます。

## 6、 健康管理

- ① 利用開始時に、体温・血圧・脈を測定し、健康チェックを行う。
- ② 感染症の発生や蔓延防止の為に、ホーム到着後は、手指消毒の徹底と空気が乾燥する時期は、こまめに換気を行い、空気の入れ替えをする。

利用毎に毎回、体温・血圧・脈を測定し、異常値の場合は再測定の実施、ケアマネや家族への情報提供を行ってまいりました。入浴時には全身観察を行い、発赤や内出血の確認を行うことで、利用者の身体状態把握に努めました。  
手指消毒の徹底、空気の入れ替えを実施したことで、感染症等の発生はありませんでした。新型コロナ感染症の感染拡大予防の為に、マスク着用の対応等追加し、拡大予防に努力しコロナ感染症に感染することなく休まず営業出来ました。

## 7、 苦情解決への取り組み

- ① 苦情が発生した場合は、速やかな対応を行ない信頼の回復に努める。

1 件の苦情が発生しました。転倒事故発生時に救急搬送しなかったことに対して、ご家族様から苦情が発生しました。事前にご家族に連絡してからご自宅経由で病院にお連れしましたが、ご家族の意向に反してしまいました、症状を詳しく報告して、ご家族の意向を詳しくお聞きしてから救急搬送をするか否か、今後の選択肢として対応していきたいと思えます。

## 8、 防災対策について

- ①各種想定に基づく通報・防災訓練を年2回以上実施する。
- ②非常食・ラジオ・懐中電灯等の防災グッズの整備、危険場所の点検、防災器具の配置場所、使用方法の周知徹底を図る。

### 訓練実施内容

6月10日13時～13時30分  
参加者17名（利用者10名、消防署職員3名、職員4名）  
地震訓練実施  
避難訓練 駐車場へ避難誘導

通報訓練 119 なしで実施

10月19日 14時～14時30分

参加者 18名 (利用者 11名、消防署職員 3名、職員 4名)

総合火災訓練実施

避難訓練 駐車場へ避難誘導

通報訓練 119 実施

消火訓練 実施

## 9、 ボランティア活動への取り組み

- ①ボランティアや個人の活動を積極的に受け入れる。
- ②地域福祉を担う一員として、地域の活動にも積極的に参加していく。

コロナ感染症の問題によりボランティアや個人の活動は受け入れませんでした。

## 10、 活動・外出報告

行事名	内容
施設内活動	○主な活動 ・コミュニティ新聞の折込み、配布 ・稲城中央公園グランド外周の散歩 ・上谷戸親水公園の散歩 ・畑作業 ・収穫野菜の販売準備 ・庭掃除、室内掃除 ・ピンポン、ゲーム ・昼食作り ・おやつ作り ・カメ、めだかの世話 ・カラオケ
外出企画	1月 稲城の神社 初詣 2月 梅祭り (府中郷土の森) 3月 花見 (三沢川、稲城中央公園、多摩川、上谷戸周辺)

## 11、 職員研修

- ①研修計画に基づき、内部研修や他事業所研修を実施し、知識や技術を習得する。
- ②個々のスキルアップを図る。

4月	倫理規定、法令遵守	10月	感染症防止、感染症対策
5月	非常災害時の対応	11月	身体拘束排除のための取組み
6月	食中毒	12月	高齢者虐待防止
7月	単独外出	1月	BPSD に着目した認知症ケア
8月	事故発生、再発防止	2月	個人情報保護、プライバシー
9月	認知症ケア	3月	身体拘束排除のための取組み

## 12、考察

令和3年4月から祝祭日の営業を開始しました、多くの利用者様のご家族に喜んでいただき、平日とほぼ同程度のご利用がありました。令和3年6月よりサービス提供時間を1時間延長により、売り上げ単価が約2割程度アップしました。

懸念していた冬期の利用者の減少ですが、下半期からのコロナ感染症の下火に伴い、新規利用者によって、大幅な落ち込みをカバーして、稼働率65%を超えるようになり、1月以降は70%を超えるようになりました

仕事を楽しみ、会話を楽しみ、おでかけを楽しんで、毎日、利用者と職員の笑い声に満ちた活動ができたと思います。

来年度は、チームワークで、さらに、笑顔になれて心の安らぎが得られる心身ともに健康になれるたんぽぽにしていきたいと思います。